

常盤の松

よろしくお願ひします！



この度の人事異動により、富岡市立東中学校から赴任して参りました校長の土屋 勇 と申します。平成10～15年度の6年間、本校にお世話になっておりました。その節には保護者や地域の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

あれから20年、当時の生徒が保護者となり、地域や職場の中心的存在として活躍している様子を風の便りで耳に入ってくる度に、誇らしく感じております。

折しも、新型コロナウイルスの猛威によって、通常の新学期が始められない歯痒さが残る中、富中生は毎日どう過ごしているのかと案じております。当初の予定を大幅に変更し、今となつては、とにかく一日でも早く、生徒、保護者、地域、職員が安心して新学期が始められるときが来ることが待ち遠しいと痛感しているのは、誰もが同じだと思います。そのためには、我々一人一人が意識を高め、できることを協力して実行していくことだと思います。この状態が永遠に続くわけではありません。再開できる日のことを思い、そのための準備をしっかりとしておくことが我々職員の使命であると考えます。

本校には昭和42年の創立20周年記念の際に植樹された「常盤の松」があります。校舎の東に力強く君臨しています。どんなに風雨にさらされても、しっかりと根を張り、季節ごとにその色を出し、多くの人々の心を和ませる力があると思います。そんな生徒を育てたいと思います。

ふと、周囲を見渡せば、正に百花繚乱。色とりどりの花があちこちで咲き乱れています。これらの花のように、誰もが笑顔で、明るく日々を過ごすことができる日が一日も早く到来することを祈りたいと思います。1年間、よろしくお願ひします。

令和2年度の学校経営

本年度の学校経営の基本方針についてご紹介いたします。

学校教育目標は昨年度からの継続で、「**自ら考え判断し、進んで行動できる生徒の育成**」を目指します。この目標を達成するための手段として、本校には「生活心得」があります。これに「富中」を付けて、「富中生活心得」とし、その内容である

「**時を守り 場を清め 礼を正す**」を校内の様々な教育活動の中で生徒も職員も同じように実践していく、としました。生徒として、教師として、そして社会人として大切なことがあります。それは、時間を守り、早め早めに行動することが相手を尊重することにつながり、自分自身の心に余裕ができます。また、本校の伝統的な清掃スタイルには定評があります。たかが掃除、されど掃除です。たった15分間の毎日の掃除の中ですが、生徒たちは自身を振り返り、次に何をどうするかを考えます。この積み重ねが人を成長させると思います。

人に会ったらあいさつをする。これも当たり前のことですが、相手を気持ちよくさせるあいさつはなかなかできません。笑顔で、大きな声であいさつをすることが習慣化されれば、相手に好印象を与え、それが自分自身の気持ちを引き締めることにつながると思います。

学校の教育活動は、学校だけではできません。様々な場面で家庭や地域の皆様のお力添えが欠かせません。夢に思い切って挑戦し、温かい思いやりの気持ちを持ち、お互いに学び合い、積極的に心身を鍛えることができる生徒を育てるため、職員一同、一致団結して全力で取り組んで参ります。皆様の御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

